

実用化事例

技術相談

ぼかし染色技術の活用 「本場結城紬格子文様入りぼかし訪問着」

【相手先企業】

本場結城紬 織工房 咲

【開発の背景】



図1 弊所試作品

本場結城紬産地で一般的に行われているぼかし染色は、糸束を編み込み、編み込んだ糸束の外側と内側との染料の浸みこみの差を利用し、濃度差を付ける技法ですが、デザイン案に即した意図的なぼかし染色を行うことができないという問題点がありました。

そこで繊維工業指導所では平成14年よりぼかし染色技術の研究を行い、時間と温度によって変化する染料の染着の違いに着目し、かせ状の染色糸を一浴中で段階的に濃度変化させる技術を開発しました。この技術はこれまでに共同研究や技術支援などで技術が普及され、実際に利用されています。

【支援例】



図2 ぼかし糸

技術普及・支援先の一つである「本場結城紬 織工房 咲」の山内氏はデザインから製織まで一貫して行える数少ない本場結城紬の染織作家です。

新たにぼかし染色を取り入れて自身のデザイン案にそった着尺地を開発したいとの相談があり、ぼかし染織技術を応用し、製品化の支援を行いました。

【開発した製品の紹介】

ぼかし染色技術を利用して製作された着物は既に販売済のものも多く、一点物の作品として高い評価を得ています。



図3 ぼかし染色着物例「本場結城紬格子文様入りぼかし訪問着」（製作：本場結城紬 織工房 咲）

(※美しいキモノ 2011 冬号に同技術を利用し製作された着物が掲載されています。)

基礎となった事業

平成19年度 試験研究指導費

現在の担当部門

紬技術部門

部門長 篠塚 雅子
主任 中野 睦子

TEL : 0296-33-4154